

前立腺全摘術入院診療計画書

説明日 年 月 日

推定される入院期間は、10～14日間です

泌尿器科病棟 (8西)病室

患者氏名




病名：前立腺癌

症状：

入院目的：手術目的

手術内容：前立腺全摘術

特別な栄養管理の必要性 有・無

	入院～手術前日	術当日	
	年 月 日 ～ 月 日	術前	術後
処置・観察	<入院後> ・リストバンドを装着します ・2回/日の検温があります <手術前日> ・お臍の処置を行います ・必要物品の確認を行います (処置内容は個人差がありますので上記の限りではありません)	 <ul style="list-style-type: none"> ・浣腸をします ・弾性ストッキングを履きます ・手術室へ看護師と共にいきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に血圧・体温等の測定をします ・酸素を投与します ・定期的に尿やドレーンから流出量の計測を行います ・疼痛や尿の管の違和感などを確認します(状況により薬剤を使用します)
検査	手術に必要な検査(採血・レントゲンなど)を行なうことがあります		・採血があります
薬剤	<入院時> ・内服中の薬剤、薬剤アレルギーの確認を薬剤師・看護師が行います <手術前日>：下記の薬は内服しないこともあります ・午後に便を出すための薬剤を飲みます ・寝る前に医師が指示した薬を飲みます	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示した薬を飲みます(内服がない場合もあります) 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴を持続的に行います(点滴が終了する時期は個人差があります)
安静度	特に制限はありません		・ベッド上安静です
排泄	特に制限はありません		・尿道に管が入った状態です ・排便は安静時はベッド上です
清潔	・入浴できます ・手術の前日は必ず入浴・洗髪をしてください		・洗面用タオルをお渡します
食事	・入院後は病院食をお召しあがりください ・手術前日から当日は、医師の指示に従って絶飲食となります(別紙参照)		絶飲食です
説明・指導・書類確認、その他(リハビリテーション等の計画)	・看護師より病棟案内、入院生活の説明があります ・医師より手術前の説明があります(/ 時頃から) <手術前日> ・麻酔科医師の訪室があります ・手術室看護師の訪室があります ・看護師より必要物品、手術までの流れについて説明します ・手術に必要な書類(同意書)を提出してください		・手術の経過については主治医が、説明します

主治医氏名






主治医以外の担当者氏名

上記の通り説明を受けました。患者本人署名

説明看護師氏名

同意年月日： 年 月 日

親族又は代理人署名 患者との続柄()

	術後1日目 月 日	術後2日目～10日目 月 日 ～ 月 日	術後11日目～退院 月 日 ～ 月 日
処置・観察	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に血圧・体温の測定をします 酸素吸入は8時で終了です 尿やドレーンからの流出量の計測を行います 疼痛や尿の管の違和感などを確認します(状況により薬剤を使用します) 歩けたら弾性ストッキングを脱ぎます 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に血圧・体温を測定します 呼吸状態により酸素の投与がなくなります 創の状態を確認します 量や色に注意して尿・ドレーンの計測をします 疼痛や尿の管の違和感などを確認します ドレーンが抜けます(術後2～5日) (抜ける期間は病状・検査結果により個人差があります) 	<ul style="list-style-type: none"> 2回/日検温をします 
検査	<ul style="list-style-type: none"> レントゲン・採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 病状によりレントゲン撮影・採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 術後7日目頃に膀胱造影を行い、結果によって尿の管が抜けます 状況により採血・レントゲン撮影があります
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 点滴を持続的に行います(点滴が終了する時期は個人差があります) 病状を見ながら必要な内服薬が再開になります(内服再開時期は個人差があります) 		
安静度	<ul style="list-style-type: none"> 看護師と一緒に座位、立位、歩行をします 	<ul style="list-style-type: none"> 無理のない範囲で体を動かしてください 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 尿道に管が入った状態です 排便は安静時はベッド上、歩行開始後はトイレで行います 	<ul style="list-style-type: none"> 検査結果が問題なければ尿の管は抜きます(尿量測定を行います) 排便時はあまりいきまないようにしましょう 	
清潔	看護師が体を拭きます	<ul style="list-style-type: none"> シャワーが可能となります 	
食事	お腹の状態を見ながら飲水や食事が開始になり、徐々に内容を変更していきます 問題なければ2日目から全粥食が始まり、4日目から常食となります(治療食となる場合があります) 		
説明・指導・書類確認、その他(リハビリテーション等の計画)	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管が入っている時は尿の袋を腰より上に持ち上げないでください (尿が膀胱に逆流し、感染する危険性があります) 水分制限がなくなったら飲水は1000ml/日を目安にしましょう 困ったことがあれば看護師・主治医に尋ねてください 	<ul style="list-style-type: none"> 術後4日目から、失禁を改善する体操をしましょう(骨盤底筋体操) 尿の色・失禁に注意してください 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットを使用して退院後の生活の注意点について説明します → 不明な点などあれば看護師に声をかけて下さい 病理診断結果は、退院ごろから次回外来受診時に主治医より説明があります

・不明点などあれば看護師に声をかけてください